

# 「富田林市総合ビジョン(素案)」に対するパブリックコメントの実施結果について

## 1. パブリックコメントの実施状況

### (1) コメントの募集期間

平成29年1月4日～1月31日(28日間)

### (2) コメントの状況

提出数:15通 (方法別…窓口持参:0通、郵送:1通、FAX:8通、Eメール:6通)

コメント内容:62種類/63件

除外したもの…意見を提出できる者以外からの意見:1通

## 2. パブリックコメントの結果

区分	種類/件数
1 総合ビジョンの記載内容の見直しを求める意見	9種類/9件
2 総合ビジョンの記載内容に賛同(または一致)する意見	7種類/7件
3 本市の施策等に対する個別・具体的な意見・要望	39種類/40件
4 国・府の施策等に関する意見・要望	5種類/5件
5 その他	2種類/2件

### (1) 総合ビジョンの記載内容の見直しを求める意見

No.	コメント内容	コメントに対する市の考え方	頁	件数
1	総合ビジョン策定の趣旨として、「人口減少や少子高齢化の急速な進行、地方分権の進展、長引く経済の低迷など…」がクローズアップされているが、格差と貧困問題も同時に取り扱ってほしい。一人ひとりの市民生活に大きな影を落としている「格差社会」という文言がないのは疑問。	平成26年に厚生労働省が実施した所得再分配調査の結果においても、所得の均等度を表す指標であるジニ係数が若干改善との結果が出ていることから、ご意見の「格差社会」については記載しないものとします。 なお、「第1章 第2節 1. 社会潮流」や「第1章 第3節 まちづくりの課題」において、子どもの貧困問題や経済情勢からの雇用への不安について位置付けております。	1	1
2	「子どもの健全な育ちの確保」では、保健師や、公立の保育園・幼稚園・小学校・中学校の現場が把握している、子どもと家庭の現状をとらえ「子どもの育ちの確保」を謳うべき。	「第1章 第2節 1. (3)子どもの健全な育ちの確保」では、一般的な社会潮流を記載しております。	3	1
3	「本市の現況」に、富田林市民の「所得段階別調べ」「就学援助率」や、一人あたりの「国保保険料」「介護保険料や利用料」「月額医療費負担額」「年金額」、「保育所利用者数、希望者数の推移」等も、グラフや表にして資料として記載してほしい。	「第1章 第2節 2. 本市の現況」については、今後のまちづくりを進めるうえで基本となる様々なデータから、本市が抱える課題を整理する目的で、必要な一部を掲載しております。	6	1

No.	コメント内容	コメントに対する市の考え方	頁	件数
4	「アクティブラーニング(能動的な学習)に基づく教育」とあるが、教育方法や中身についてビジョンに書き込むのは間違いだと思う。教育の進め方や内容は、学校・教師の権限に基づき進められるものであり、行政が方向性を決めるべきものではない。	「アクティブラーニング(能動的な学習)」については、国が今後の教育において重視していく考え方の一つとして示しているものであり、ここでは、こうした社会潮流を踏まえた記載としております。	25	1
5	土地利用構想において、市街地ゾーンにおける自然環境への配慮の記載がない。石川の河岸段丘崖のような貴重な自然が存在するため、市街地ゾーンの残された自然を保全することを加えてほしい。	土地利用構想においては、市域を4つのゾーンに大別し、これまで進めてきた良好な住環境や歴史・文化・自然が調和した環境の保全を基本としながら、土地利用を計画的に推進することとしております。 ご意見の市街地における自然の保全については、「第3章 第3節 4. 安全・安心で美しく快適なまちづくり」に含まれております。	34	1
6	「定住の地」としていくことが大切という考え方は重要である。自分や周りの人が「定住の地」として富田林市を選んだ理由は、身近な自然環境や充実した保育・教育環境に魅力を感じたからであり、これらが富田林市の売りだと思う。	本市では「子育てするなら富田林」をキャッチフレーズに子育て施策を積極的に進めており、本市の充実した子育て環境を効果的にPRしていく必要があるものと認識しております。 ご意見を踏まえ、「第3章 第2節 戦略的施策 新しい人の流れを生む魅力の発信と愛着の醸成」において、「定住人口や交流人口の増加に向けて、・・・、大阪都心部への良好なアクセス性、 <b>充実した子育て環境</b> など、本市固有の地域資源を活かしながら、暮らしやすさや <b>子育てのしやすさ</b> 、訪れる楽しみなど都市の魅力を高め・・・」と修正します。	37	1
7	「子育てしやすいまち」をアピールし、子育て世代の移住を促す施策の推進が必要。		37	1
8	「農業」について、日本の食料自給率にどう貢献できるのかをビジョンに記載してほしい。	本市の農家数減少が課題となっている中、本ビジョンにおいては、後継者不足への対応や農産物のブランド化推進による生産価値の向上を図り、産業としての安定化・活性化をめざしています。そのため、ご意見の「日本の食料自給率への貢献」については、記載しないものとします。	40	1
9	国のビジョンを富田林市にあてはめたようなビジョンでは物足りない。	本ビジョンは、策定段階でワークショップ形式による市民会議やアンケート調査等を実施し、市民や関係団体の声なども反映しながら、本市が抱える課題とその対応に向けた施策についてまとめております。	-	1

(2) 総合ビジョンの記載内容に賛同(または一致)する意見

No.	コメント内容	コメントに対する市の考え方	頁	件数
10	まちづくりの大綱として、まず「主体的な市民参加と協働のまちづくり」を挙げている点は評価できる。また、政策立案にあたり、市民の声を聴く姿勢も見られるため、引き続き、この点を大事にして取り組んでほしい。	本ビジョンでは、「主体的な市民参加と協働によるまちづくり」をすべての施策を推進するうえでの基本的な考えとして位置付けております。	36	1
11	高齢化と人口減少に歯止めがかからない現状を打開するためのビジョンとして、今後10年の対応が重要である。	本ビジョンでは、「新しい人の流れを生む魅力の発信と愛着の醸成」を戦略的施策として位置付け、定住人口や交流人口の増加に向けた取組を分野横断的に展開していくこととしております。	36	1

No.	コメント内容	コメントに対する市の考え方	頁	件数
12	近大病院の移転に考慮しつつ、富田林病院で安心して受診ができるように充実してほしい。	ご意見については、「第3章 第3節 2. (1) 健やかに暮らすための健康づくり・医療」に含まれております。	39	1
13	「富田林版地域包括ケアシステム」に期待している。高齢者や障がいのある人、所得の低い人など、支援を必要とする人の声をしくみづくりに活かしてほしい。	ご意見については、「第3章 第3節 2. (2) 支え合いを育む福祉コミュニティづくり」に含まれております。	39	1
14	再生可能エネルギーの利用促進や、低炭素社会の構築に向けたライフスタイルの浸透、自然環境や生物多様性の保全などが位置付けられており、今後の環境行政に期待できる。	本ビジョンでは、「第3章 第3節 4. 安全・安心で美しく快適なまちづくり」において、環境にやさしく美しい地域づくりを進めていくこととしております。	41	1
15	市民アンケートの10年後の理想像は「若い世代が安心して子育てできるまち」「高齢者や障がい者が安心して暮らせるまち」が上位となっている。若い人もお年寄りも障がいのある人も、みんな安心して暮らせるまちが富田林の理想の姿と言える。様々な団体や市民とともに、政策づくりを進めてほしい。	本ビジョンでは、「ひとがきらめく！自然がきらめく！歴史がきらめく！みんなで作る 笑顔あふれるまち 富田林」を将来像として位置付けており、ご意見にあるように、「暮らしの中に幸せがあふれ、すべての人が心地よさを感じることができる、たくさんの笑顔があふれるまち」となることをめざしております。 また、「主体的な市民参加と協働によるまちづくり」をすべての施策を推進するうえでの基本的な考えとして位置付け、市民や各種団体と連携・協働してまちづくりを進めていくこととしております。	-	1
16	少子高齢化が進んでいる中、子どもや高齢者など、弱い立場の人にこそ、充実した施策が必要だと思う。	本ビジョンでは、「第3章 第3節 1. 未来への希望を育む子育て・教育」「第3章 第3節 2. みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり」において、親と子を支える環境づくりや支え合いを育む福祉コミュニティづくりを進めていくこととしております。	-	1

(3)本市の施策等に対する個別・具体的な意見・要望

No.	コメント内容	コメントに対する市の考え方	頁	件数
17	市民アンケートやワークショップからは、行政からの情報発信・公開に関する課題が見られる。 「出前講座」は、聞きたい時に対応できるものにはなっていないと思う。 高齢者のみの世帯が増え、市役所からのお知らせ等も「内容がよくわからない」ということもあり、市民と市役所が身近になるよう、全庁的に検討してほしい。	ご意見については、今後の情報公開・発信の参考とさせていただきます。	37	1
18	少子化対策として助産施設を増やしてほしい。また、助産給付金制度を復活し、安心して出産できるようにしてほしい。	本ビジョンでは、「第3章 第3節 1. 未来の担い手を育む子育て・教育」において、若い世代の子どもを持つ希望をかなえるよう、親と子を支える子育て環境づくりを進めることとしております。 ご意見にある出産への支援策については、今後の子育て施策の参考とさせていただきます。	38	1

No.	コメント内容	コメントに対する市の考え方	頁	件数
19	医療費など金銭的な面も含めて安心して産み育てられるよう、子ども一人ひとりを大切に配慮してほしい。	ご意見については、今後の子育て施策の参考とさせていただきます。	38	1
20	「子育てするなら富田林」をめざすなら、子育て施策に対する予算をもっと増やしてほしい。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	38	1
21	公立・公的な施設は行政と直接繋がっているの、救済対策もたてやすく、また民間であったとしても公的な基準を大切にしたい。	ご意見については、今後の子育て・教育施策の参考とさせていただきます。	38	1
22	子どもたちの放課後を充実させるため、教育委員会とこども未来室の連携を図ってほしい。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	38	1
23	富田林市では年間収入200万円以下の人の増加や就学援助率の上昇が見られており、生活の苦しい人が増加している。 若い人達が定住できるよう、子ども医療費助成の年齢拡充や、給食、プール利用料の無料化など、安心して子育てできるまちづくりをしてほしい。	本ビジョンでは、「第3章 第3節 1. 未来の担い手を育む子育て・教育」において、若い世代から子育て・定住の場として選ばれるまちとなるよう、親と子を支える子育て環境づくり、未来の担い手を育む教育等を進めることとしております。 ご意見にある経済的な支援策については、今後の子育て・教育施策の参考とさせていただきます。	38	1
24	若年層の転出傾向が顕在化している中で、これまで実施してきた子育て施策等だけでなく、新たな施策の実施による若年層にとって魅力ある市になる必要がある。医療費や保育料、教育費(給食費含む)の無料化や家賃補助、30人学級の実施など富田林市独自の施策を打ち出してほしい。	本ビジョンでは、「第3章 第3節 1. 未来の担い手を育む子育て・教育」において、若い世代から子育て・定住の場として選ばれるまちとなるよう、親と子を支える子育て環境づくり、未来の担い手を育む教育等を進めることとしております。 ご意見については、今後の子育て・教育施策の参考とさせていただきます。	38	1
25	18歳までの子ども医療費助成制度、金剛プールの復活、給食費の無料化をしてほしい。	ご意見については、今後の子育て・教育施策の参考とさせていただきます。	38	1
26	3年保育を実施してほしい。保育園ニーズが高まっているなか、幼稚園、保育園の充実が重要である。正規職員が少なく、非正規・パートが増えていると聴く。保育士等の待遇改善が急務ではないか。	ご意見については、今後の子育て・教育施策の参考とさせていただきます。	38	1
27	園児の減少により、小学校区外の幼稚園に行くことになった人がおり、親も子どもも不安を抱えている。	ご意見については、今後の教育施策の参考とさせていただきます。	38	1
28	公立幼稚園がいくつかなくなると聞いているが、地域にあってこそで遠くに通うのであればその役割が果たせないのではないかと聞きたい。通わせたい保護者がいる限りつづけるべき。	ご意見については、今後の教育施策の参考とさせていただきます。	38	1
29	就学援助適用基準の所得基準を生活保護基準の1.5倍にしてほしい。	ご意見については、今後の教育施策の参考とさせていただきます。	38	1

No.	コメント内容	コメントに対する市の考え方	頁	件数
30	指示されたことしかできない子どもではなく、心身ともに健やかに成長でき、未来への夢が持てるような教育をお願いしたい。また、教職員が希望を持てる教育環境にも配慮してほしい。	ご意見については、「第3章 第3節 1. (2) 未来の担い手を育む教育」に含まれております。	38	1
31	小中学校給食の市直営化、給食費の無償化、選択制の中学校給食を全員給食とし、就学援助の対象にしてほしい。市民の声を聴き、関係機関の意見や要望が反映されるシステムを充実させてほしい。低農薬で旬の地元農産物の活用を進め、遺伝子組み換え食品材料の禁止やアレルギー対策、伝統的食文化を生かしたメニューづくりをしてほしい。	ご意見については、今後の教育施策の参考とさせていただきます。	38	1
32	国民健康保険について、保険料の引き下げを行い、市独自の減免制度に多子家庭の減免を加えてほしい。保険料の滞納者への処理について、合意の下で、生存権を脅かすことのないよう対応してほしい。医療費の一部負担金減免制度を拡充してほしい。	ご意見については、今後の国民健康保険制度の運営や医療施策の参考とさせていただきます。	39	1
33	特定健診やがん検診を充実し、受診しやすいようにしてほしい。	ご意見については、「第3章 第3節 2. (1) 健やかに暮らすための健康づくり・医療」に含まれております。	39	1
34	ますます重要になっている地域包括支援センターの拡充をはかってほしい。	ご意見については、今後の高齢者施策の参考とさせていただきます。	39	1
35	医療、介護などは、生活と密に関わるが、制度変更時や、はじめて利用するときになかなか理解できない。また、申請すれば利用できる制度について知らないこともある。市民への説明や意見を聴く機会を増やしてほしい。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	39	1
36	サバーファーム(にこにこ市場)では地元野菜が値段的にも質的にも良いものが手に入る。石川から近い所に地元野菜の販売所を設置するなど、地元農家が安心して販売できるしくみや施設が必要である。富田林のブドウ・ワインの復活なども面白いと思う。	ご意見については、今後の農業施策の参考とさせていただきます。	40	1
37	空き店舗の活用や若い事業者に特化した施策など商店街の振興への抜本的な支援の増額を行ってほしい。	ご意見については、今後の商工業施策の参考とさせていただきます。	40	1
38	市内の中小企業に仕事が回るよう、大阪府の住宅リフォームマイスター制度を参考に、「富田林版住宅リフォームマイスター制度」を創設してほしい。	大阪府住宅リフォームマイスター制度は、広く府民に向けて、本市の地元事業者を含むマイスター事業者を情報提供するしくみとなっております。ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	40	1
39	府連携融資で行っている返済期間延長、融資金額増額や、市外の金融機関でも手続きできるようにしてほしい。また、信用保証料・利子補給制度を大阪府小規模サポート資金についても適用できるよう制度を拡大してほしい。	ご意見については、今後の商工業施策の参考とさせていただきます。	40	1

No.	コメント内容	コメントに対する市の考え方	頁	件数
40	「小規模企業振興基本法」を活かした商工施策を実施してください。	ご意見については、今後の商工業施策の参考とさせていただきます。	40	1
41	市内製造業の活性化を図るため、市の業務等の地元中小企業への発注割合を引き続き高めてほしい。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	40	1
42	小規模修繕工事契約希望者登録制度を利用しやすくするため、書類手続きなどを簡素化してほしい。また、制度の広報活動や説明会、実績などの情報提供を広報で行ってほしい。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	40	1
43	寺内町について、観光に重心を置いているように感じるが、住民生活と一体となった整備を大切にしていたのではないか。他の重要伝統的建築物群保存地区や、まちなみ保存に積極的な自治体の経験を参考にしながら、歴史的環境が今に息づくまちとして発展して欲しい。	寺内町については、観光面での有効活用だけでなく、住民生活を含めた歴史的環境としての保全も重要であると認識しております。 ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	40	1
44	地震や水害などの災害が多く、南海・東南海地震も心配される。市民が利用しやすく小企業・家族経営の技術を活かした施策を業者・団体の意見も聞きながら行ってほしい。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	41	1
45	市民アンケートのまちづくりへの満足度と今後の重要度において、「安全な水道水の供給」が満足・重要度ともに高く、市民の関心・期待度が感じられる。本市では、琵琶湖の水の企業団水・地下水をくみ上げている自己水・河内長野市と二市共同の滝畑ダムの三水源でバランスよく供給されており、他市に比べ、安定した水源確保が可能で、災害・トラブルにも強く、富田林市の誇るべき事である。 安全・安心で良質な水の安定供給、災害・トラブルに強固な水道事業作りに向け、よく検討し、これからも良質な水道水を供給していただきたい。	ご意見については、今後の水道事業運営の参考とさせていただきます。	41	1
46	富田林市が持つ落ち着いた印象は、高層の建物が少なく、石川をはじめとした懐かしい風景や、寺内町部分だけでない古民家が多く残されていることだと思う。古民家再生などにより新しい世代の人が住める住居づくりを考えてはどうか。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	41	1
47	生活困窮者やホームレス、社宅等から追い出された人、離婚等による緊急枠を確保できるよう、市営住宅の入居制度を拡充させてほしい。	ご意見については、今後の住宅施策の参考とさせていただきます。	41	1
48	特定の目的をもった補助制度も大切にしながらも、その枠に入らない住宅でも使用できる「住宅リフォーム助成制度」を創設してほしい。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	41	1

No.	コメント内容	コメントに対する市の考え方	頁	件数
49	市民アンケートやワークショップ、関係団体ヒアリングからは、「車がないと生活にくい」「高齢化により移動・外出支援のニーズが高まっている」などの意見が多くなっている。市内でも公共交通が身近にある人と、バス停まで遠かったり、坂道が多い人とは、ニーズが異なるため、市域全体を見渡した政策づくりを住民とともににつけてほしい。市独自で7-8人乗りのタクシーを運行するなど住民の足を確保することも検討してほしい。	高齢化のさらなる進行が予測される中、本市においては、交通・移動手段の確保は今後の大きな課題と認識しております。ご意見については、今後の交通施策の参考とさせていただきます。	41	2
50	市内の店が減っており、食料品などを買う小規模な店や移動スーパーなどがあれば良い。買い物や病院に行くコミュニティバスを細かく走らせてほしい。	ご意見については、今後の交通施策・商業施策の参考とさせていただきます。	41	1
51	「成熟したまち並み、緑豊かな住環境」の維持と、公共交通の充実による移動環境の向上を進めるべき。	ご意見については、「第3章 第3節 4. 安全・安心で美しく快適なまちづくり」に含まれております。	41	1
52	市民税と固定資産税の減免基準を拡充してほしい。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	42	1
53	人口減少に歯止めをかけるには、公的な教育・保育の水準を維持することが重要であり、今後10年程度は拙速な統廃合を避けるべき。	本市では、人口減少や少子高齢化の進行を踏まえ、将来の市民ニーズの変化を見据えた市民本位のまちづくりと持続可能な財政運営を可能とするため、公共施設等の計画的な管理を推進しております。ご意見については、今後の教育施設を含めた公共施設管理の参考とさせていただきます。	42	1
54	若い世代が定住するには保育・学童・教育施設等の公共施設が身近にあることが重要。全国的に学校等の統廃合が進む中、これまでの公共施設を引き継ぐことで他自治体との違いを出し、若い世代を呼び込むセールスポイントにしてほしい。また、児童・生徒数が減少した学校については、他の公共施設との併用など、必要に応じて再度教室として活用できるようにするなど、アイデアを出し合うべき。	本市では、人口減少や少子高齢化の進行を踏まえ、将来の市民ニーズの変化を見据えた市民本位のまちづくりと持続可能な財政運営を可能とするため、公共施設等の計画的な管理を推進しております。ご意見については、今後の教育施設を含めた公共施設管理の参考とさせていただきます。	42	1
55	公共施設の多機能型改修を進めるべき。	ご意見については、「第3章 第4節 将来を見据えた持続可能な行財政運営の推進」に含まれております。	42	1

#### (4) 国・府の施策等に関する意見・要望

No.	コメント内容	コメントに対する市の考え方	頁	件数
56	実施計画では財源確保が問題になると思うが、地方自治法や地方分権一括法を根拠に国に強く求めていってほしい。	今後策定する予定の実施計画に基づく各事業の実施に向けては、ご意見のとおり財源確保が重要と認識しておりますので、今後必要に応じて国へはたらきかけてまいります。	-	1
57	消費税の10%への増税を中止し、5%に戻すよう、国に要望してほしい。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	-	1

No.	コメント内容	コメントに対する市の考え方	頁	件数
58	女性の経済的独立を妨げることがないよう、所得税法第56条廃止を求める意見書を国に提出してほしい。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	-	1
59	最後のセーフティネットとして、生活保護基準の引き下げをやめるよう、国に要望してほしい。また、夏季一時金や年末見舞金を復活するよう、大阪府に要望してほしい。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	-	1
60	大阪府の制度融資について、あっせん方式の復活を府に要望してほしい。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	-	1

(5)その他

No.	コメント内容	コメントに対する市の考え方	頁	件数
61	市ウェブサイトで総合ビジョンを一読したが、長いと感じた。今後、10ページ以上のものは市役所・公民館等では、コピー代を無料にして持ち帰れるようにしてほしい。	ご意見については、今後のパブリックコメント制度の参考とさせていただきます。	-	1
62	パブリックコメントは、「インターネットを使えない」「市役所や公共施設に行くのが大変」「広報の文字を読むのが大変」等の人にとどのように対応していくのか。	ご意見については、今後のパブリックコメント制度の参考とさせていただきます。	-	1